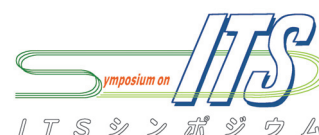


# 第 16 回 ITS シンポジウム 2018

2018 年 12 月 13 日(木)~14 日(金)

同志社大学 今出川校地 寒梅館



## Call for Papers

### テーマ：人・社会の活動を支える ITS ～モビリティサービスによる社会の変革

昨今の技術の発展に伴い、いよいよ自動運転が形になりつつある時代が到来してきました。さらに、コネクテッド、シェアリング、電動化も含め、ITS においてこれら CASE (Connected, Automated, Shared & Electric) の技術がますます重要となっています。

一方で、従来型のモノの提供から新たなサービスの提供への変革期が訪れているとも言われています。クルマに加えて新しい都市交通手段を含め、社会全体として人・モノの移動を支援するモビリティ社会を実現するためのイノベーションを前提として考えていく必要があります。

具体的なモビリティサービス (Mobility as a Service) として社会に受け入れられるためには、これまでの ITS に関する先端技術の研究開発に加え、社会的受容性や経済効果を考慮した新たな社会制度の構築など、社会科学の観点からの検討も不可欠です。

ITS シンポジウム 2018 は、学生の街であり伝統と変革の都市である京都を会場として、文理双方の研究者と次世代を担う技術者の卵を含め、最先端の自動運転技術はもちろん、交通事故削減や環境負荷軽減に加え、道路インフラの維持・発展、社会制度の変革など、様々な論点から活発な議論をして行きたいと考えています。

**査読ありを希望され、採択された論文はすべて \* International Journal of Intelligent Transportation Systems Research (IJIT) に掲載されます。これに伴い投稿方法が下記のように変更になっています。査読を経ない論文については変更ありません。**

\* International Journal of Intelligent Transportation Systems Research (<http://www.springer.com/engineering/electronics/journal/13177>) は ITS 全般をカバーする英文ジャーナルとして 2003 年に ITS Japan が創刊し、2010 年以降は米国 Springer 社より電子ジャーナルとして年 3 号発行しています。Springer の学術文献サイト (Springer Link) を媒体として、世界各国の大学や研究機関から購読・閲覧されています。

■ **投稿方法** 投稿時に「査読あり」「査読なし」のいずれかをお選びください。

#### ● 査読あり

- (1) 提出期限: 5 月 31 日(木)
- (2) 提出物: A4 サイズ 10 ページ以内のフルペーパー。使用言語は英語のみとします。  
指定のフォーマットに従って Word ファイルで作成してください (PDF は不可です)。  
フォーマットは [http://www.its-jp.org/event/its\\_symposium/16th2018/](http://www.its-jp.org/event/its_symposium/16th2018/) に掲載します。
- (3) 提出先: IJIT 投稿サイト: <http://www.editorialmanager.com/ijit/> Article Type は ITS Symposium を選択してください。
- (4) 結果通知: ジャーナルの採否結果は 10 月末にご連絡する予定です。採択論文は、ジャーナルの通常号の論文として取り扱われます。また、この時点までに採用に至らなかった論文でも引き続き査読を受けることができ、最終的に採択に至った場合にはジャーナルに掲載されます。
- (5) 発表: ジャーナル掲載の採否に関わらずシンポジウムにおける発表を必須とします。  
対話セッションで発表していただきます。基本言語は日本語ですが、海外の方は英語でも結構です。

#### ● 査読なし (従来と変更ありません)

- (1) 提出期限: 8 月 20 日(月)
- (2) 提出方法: 250 字程度のアブストラクト。使用言語は日本語または英語。  
投稿票に記入して下記送付先へメールでお送りください。  
投稿票は [http://www.its-jp.org/event/its\\_symposium/16th2018/](http://www.its-jp.org/event/its_symposium/16th2018/) に掲載します。
- (3) 結果通知: 9 月中旬
- (4) 最終原稿: 11 月 16 日(金)までに A4 サイズ 6 ページ以内のフルペーパーをご提出いただきます。  
論文は参加登録者限定ウェブサイトに掲載します。
- (5) 発表: 採用された論文は対話セッションで発表していただきます。

## ■スケジュール (予定)

### ●査読あり

論文投稿締切	5月31日(木)
1次判定結果通知	7月末
修正論文提出	9月中旬
ジャーナル採否通知	10月末
掲載用最終稿提出	11月下旬
論文掲載	12月

### ●査読なし

アブストラクト投稿締切	8月20日
採否通知	9月中旬
掲載用最終稿提出	11月16日(金)
ショットガンスライド提出	11月19日(月)
論文掲載	11月末

## ■参加登録料

タイプ	11月30日まで		12月1日より	
	会員	非会員	会員	非会員
発表者	15,000円			
聴講者	15,000円	20,000円	18,000円	23,000円
学生発表者	8,000円			
学生聴講者	3,000円			

※ジャーナルに掲載された論文は、掲載料として1ページあたり10,000円を別途ご請求申し上げます。

## ■募集する論文の分野

### A. Challenges and Opportunities of Big Open Data

Open data management and application  
Data sharing and exchange  
Ubiquitous sensing  
Technology for data collection  
Availability and quality of data  
Data visualisation  
Data fusion  
Predictive analytics  
New business models for traveller information  
Security in an open environment

### B. Smart Cities and New Urban Mobility

Integrated transport system  
Next generation traffic management  
Transport modelling  
Road user charging  
Travel demand management  
Integrated ticketing and payment  
Incident management

### C. Automated Vehicles and Cooperative ITS

V2X Communication technologies and Cooperative systems  
Human factors and human machine interface  
Field operational tests, pilots and demonstrations  
Positioning, mapping and navigation  
Security and integrity for connected and automated vehicles  
Mobility as a service - a transport revolution?  
Infrastructure and regulation needs for a mixed-capability fleet

### D. Mobile Applications

Multi modal real time information  
Multi modal journey planner  
Demand responsive public transport  
Taxi and parking reservation  
Real time traffic advisory

### E. Vehicle and Network Safety

Speed advice and restriction  
Technology and system for safety and enforcement  
Advanced driver assistance and support systems  
Human factors  
Emergency pre-emption and notification  
Post-crash response  
Improving safety of vulnerable road users  
e-call  
Roadwork safety and inclement weather management  
Preventative and active safety systems

### F. Future Freight including Aviation and Maritime

Freight and fleet management  
Logistics  
Railway network operation  
Unmanned aerial vehicles (UAS / RPAS / Drones)

### G. Environmental Sustainability

Environmental impact reduction  
Electro mobility and charging  
Eco driving  
Reducing noise  
Car sharing, bicycle sharing and ride sharing  
Encouraging active transport and mode shift

## ■第16回 ITS シンポジウム 2018

主催: 同志社大学/特定非営利活動法人 ITS Japan

共催: 同志社大学モビリティ研究センター/同志社大学 技術・企業・国際競争力研究センター

協賛: 計測自動制御学会, 交通工学研究会, 自動車技術会, 情報処理学会, 人工知能学会, 電気学会, 電子情報通信学会, 土木学会, 日本機械学会, 日本交通心理学会, 日本ロボット学会, 自動車技術会 ITS 部門委員会, 情報処理学会高度交通システムとスマートコミュニティ(ITS)研究会, 情報処理学会コンピュータビジョンとイメージメディア研究会, 情報処理学会ユビキタスコンピューティングシステム研究会, 電気学会 ITS 技術委員会, 電子情報通信学会 ITS 研究会

実行委員長: 松岡 敬(同志社大学 学長)

プログラム委員長: 佐藤 健哉(同志社大学)/三好 博昭(同志社大学)

プログラム委員会: 岩岡 浩一郎(パナソニック), 梅津 高朗(滋賀大学), 金子 哲也(大阪産業大学), 倉内 文孝(岐阜大学), 佐藤 尚良(オムロン), 塩見 康博(立命館大学), 高木 聡一郎(国際大学), 高田 広章(名古屋大学), 田口 聡志(同志社大学), 多田 昌裕(近畿大学), 田名部 淳(株式会社地域未来研究所), 中野 公彦(東京大学), 中東 正文(名古屋大学), 橋本 雅文(同志社大学), 本田 康二郎(金沢医科大学), 松本 洋(住友電気工業), 渡邊 陽介(名古屋大学)

送付先: ITS Japan 井出晴子 (TEL 03-5777-1013 / FAX 03-3434-1755 / E-mail h-ide@its-jp.org)